

Profile

ファシリテーター：堤 寛

慶應義塾高等学校、慶応義塾大学医学部卒業（第5612号）

慶応義塾大学大学院医学研究科博士課程修了。

東海大学医学部病理学助手。

1982年3月、医学博士（慶應義塾大学）。

1986年4月、東海大学医学部病理学講師。

1988年3月～1990年月、米国ボストン市タフツ大学医学部病理学教室留学（臨床講師）。

1992年4月、東海大学医学部病態診断系病理学部門助教授。

1993年12月～1994年3月、国際協力事業団の専門家派遣でケニア中央医学研究所滞在。

1996年4月～2000年3月、東海大学医学部附属病院病理診断科科长（兼任）。

2001年6月～2017年3月、藤田保健衛生大学医学部第一病理学、教授。

2017年4月～2018年3月、はるひ呼吸器病院病理診断科、病理部長。

2018年4月、つつみ病理相談所、所長（豊明市、名鉄線前後駅前）。

2019年10月、つつみ病理診断科クリニック、院長（名古屋市緑区有松）。

2021年3月18日、愛知県稲沢市矢合町三吉跡1551-1

つつみ病理診断科クリニック移転。

2023年7月、一般社団法人 **Tsutsumi Pathology Library** 設立、代表理事。学会委員等：日本病理学会（病理専門医、**Pathology International**常任刊行委員）、日本臨床細胞学会（指導医、功労会員）、日本組織細胞化学会（編集委員）、日本感染症学会（**Infection Control Doctor**）、日本医学教育学会（功労会員）、医療の安全に関する研究会（常任理事）、編集委員、「医学のあゆみ」編集協力者などを務める。

ファシリテーター：YOSHIMOTO KUMI

京都芸術大学グラフィックデザイン卒業

NPO 法人 **withness** 理事長

プログラム実践では、アート学習の企画を担当する。



wellbeing programの出張講座を
ご希望される方は、NPO法人withness
事務局までお申し込みください。

NPO法人 withness

☎ 0587-96-7088

Fax:0587-96-7098

✉ sayokotsutsumi3@gmail.com

📍 稲沢市矢合町三吉跡1551-1

学習提供プログラム wellbeing program

～ 私が私らしく生きるために～



1) self-care

私が私らしく生きるためのプログラム

- 1 心と体のバランスのためのリラクセーション
→ ゆったりすることでストレスを解消する
- 2 Who am I? 私をよく知る
→ 自己探求し、気づいてない自己を発見する
- 3 ライフサークルを描く
→ 幼少期、青年期、今、未来を想う
- 4 アートで表現する
→ 自分の想いに気づく
- 5 自己実現に向かう
→ 私の夢・希望を明白にする



2) wellbeing



- 1 傾聴と積極的傾聴
→ よく聴く、相手がもっと話せるように聴く
- 2 自己表現(アサーション)
→ 相手が受け取りやすい話し方で伝える
- 3 双方向コミュニケーション
→ 互いに気持ちのよいコミュニケーターになる
- 4 非言語コミュニケーション
→ 言葉にない言葉の体験と表現方法
- 5 感受性開発(=感受性、柔軟性を養う)
→ 自然のなかで創造力を養う

このプログラムはテーマごとに
体験学習方式で実施します。
ファシリテーターが進行役で進めます。
1 テーマ、45分～90分で実施します。
プログラム実施費用は、
参加者人数と実施時間によりますが、
基本: 1 テーマ 45分～90分。
(参加者数 8名～20名) 10,000円
※アート資料代は別途実費となります。

【問い合わせ】 sayokotsutsumi3@gmail.com

Profile

プログラム開発&ファシリテーター

堤 佐代子

南山中学、高校、短期大学(人間関係科)卒業。カウンセリング、エンカウンター・グループ、Tグループ、ファシリテーション等を学ぶ。南山大学人間関係研究センター主催の各種トレーニングに参加してファシリテータースキルアップに努めながら、1995年南山短期大学研修生となり、故・山口真人教授のもとで「人間中心の教育」と「コミュニケーションプロセス論」を学ぶ。

2006年、オーストラリア、メルボルン市にあるGawler財団主催のwellbeingのためのプログラム、「Life&Living, 10days Residential for Cancer」「Educational and self-help program "Health, Healing Wellbeing"」に参加。Gawler財団から、このプログラムを応用実施するリーダーとして実践許可認証を得た。

2007年、保坂隆教授(当時:東海大学医学部、現:聖路加看護大学院)と厚生労働省科学研究がん臨床研究事業で、当団体の開発したプログラムを初回実施した。その後、鹿児島市、秋田県、岩手県、鳥取県、島根県など、各地に招かれ、患者や家族の支援プログラムについての講演とプログラム実施を行った。

2008年、南山大学心理人間学科研究生となり故・山口真人教授の指導のもとで支援プログラムアクションリサーチをまとめた。

2009年、Gawler財団のプログラム、「Weekend Meditation Retreat」と「Living well Endorsed leaders in service training」に参加。

2006年～2010年、藤田医科大学(もと藤田保健衛生大学)客員講師として医療のセミナーのなかでコミュニケーションについての体験学習を担当。

2009年 9月、NPO 法人withness 設立。

2012年10月、日本ピア・サポート学会にて「wellbeing program」の実践を教育的アプローチとして報告した。私らしく生きるためにをテーマにした「wellbeing program」は、全世代で活用できるので、今後、様々な場面で実践してゆく予定。